

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0430

(注)本稿は 2017 年 12 月 10 日から 17 日まで 6 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2017.12.24

前田 高行

## イスラエルを除き MENA 諸国は全て100位以下:2017年版世界男女格差報告

(MENA なんでもランキング・シリーズ その8)

目次	頁
1. 「世界男女格差報告2017」について	2
2. MENA の平均世界順位は127位、日本も144カ国中114位	3
3. 分野別順位	3
4. 2013～2017年の総合ランクの推移	5
5. 中東5カ国と日米中の要素別比較(レーダーチャート)	7

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら19カ国・1機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

ここでは世界経済フォーラム(World Economic Forum, WEF)が行った「世界男女格差報告2017

(The Global Gender Gap Report 2017)」から MENA 諸国をとりあげて比較しました。

## 1. 「世界男女格差報告2017」について

「世界男女格差報告2017(The Global Gender Gap Report 2017)」(以下「2017年版報告書」)を  
発表した「世界経済フォーラム」(World Economic Forum, WEF)は、スイスのジュネーブに本部を置く  
非営利団体であり、毎冬スイスのダボスで行われる「ダボス会議」の主催者としてよく知られてい  
る。

「2017年版報告書」は世界144カ国を対象に経済、教育、健康、政治の4つの分野について、世  
界或いは各国の公的機関が公表する男女別のデータに基づき、それぞれの分野の男女間の格差  
を指数化し順位付けを行ったものである。

\* WEF ホームページ: <https://www.weforum.org/reports/the-global-gender-gap-report-2016>

### (1) 比較対象される分野とその内容

対象とされるのは以下の4つの分野であり、各分野にはそれぞれ二つ乃至五つの比較項目があ  
る。

I 経済参画分野: 経済活動への参加度及び参画の機会(Opportunity)に関する男女格差

比較項目: (1) 労働参加比率、(2) 同一労働賃金格差、(3) 平均所得格差、  
(4) 幹部職比率、(5) 専門・技術職比率

II 教育分野: 教育の機会に関する男女格差

比較項目: (1) 識字率、(2) 初等教育就学率、(3) 中等教育就学率、(4) 高等教育就学率

III 健康・寿命分野: 健康と寿命に関する男女格差

比較項目: (1) 新生児男女比率、(2) 平均寿命

IV 政治参画分野: 政治参画の度合に関する男女格差

比較項目: (1) 女性議員比率、(2) 女性閣僚比率、  
(3) 過去50年間の女性元首(首相等)在任期間

### (2) 指数化の方法と順位付け

144カ国について上記四つの分野の各比較項目に関する男女それぞれの数値或いは比率のデ  
ータを抽出し、この男女のデータについて男性を1とした場合の女性の指数を算定する(最大値は1  
とする)。この指数の意味は、指数1の場合男女が完全に平等であることを意味しており、指数が低  
くなればなるほど男女の格差が大きいことを示している。

各比較項目の指数を加重平均したものを、その分野の指数とする。最後に4つの分野の指数を  
加重平均したものがその国の格差指数であり、144カ国の指数を上位から順に総合順位を付ける  
のである。

## **2. MENA の平均世界順位は127位、日本も144カ国中114位(末尾表 8-T01 参照)**

「2017年版報告書」は、上記の方法(前項1参照)により144カ国のそれぞれの総合指数を算出し順位付けを行ったものである。このうち MENA は16カ国が順位付けの対象となっている。今回調査対象とならなかったのはイラク、リビア、オマーン、パレスチナ自治政府の3ヶ国1機関である。

MENA 諸国の世界ランクの特徴はイスラエルを除く15カ国が全て100位以下と言う極めて低いレベルにあることである。MENA トップのイスラエルは世界ランク44位である。イスラエルに続くのはチュニジア(世界ランク117位)であり、MENA 各国の世界ランクは殆ど差が無い。

そして UAE(120位)、バハレーン(126位)、アルジェリア(127位)、クウェイト(129位)の4カ国が120位台にひしめいている。世界でも最低クラスの130位以下にカタール(130位)、トルコ(131位)、エジプト(134位)、ヨルダン(135位)、モロッコ(136位)、レバノン(137位)、サウジアラビア(138位)と MENA の半数近くの国が130位台にひしめいている。さらに最下位クラスにはイラン(140位)、シリア(142位)及びイエメン(144位)の各国が並びイエメンは世界最下位である。MENA の世界平均順位は127位であり、イスラエル以外の MENA 諸国は男女格差が大きく、男女平等が遅れた地域と言えよう。

ちなみに世界1位はアイスランドであり、2位以下にはノルウェー、フィンランド、ルワンダ、スウェーデンと続いている。ベスト・テンではアジアでただ1カ国フィリピンが10位にランク付けされている。これに対して日本は114位である。日本は米国(49位)に大きく後れをとっており、中国(100位)よりもさらに低いランクである。日本は男女格差が非常に大きな国であると評価されていることがわかる。

上記の世界ランクを昨年と比較すると、MENA 諸国ではランクの上がった国が6カ国、下がった国が8カ国、変わらなかった国が2カ国である。これを指数の変化で見ると指数の上がった国が9カ国、下がった国は5カ国であり、世界ランクとは異なった様相を示している。このことから MENA 以外の世界各国が MENA 諸国を上回って指数がアップしており、MENA の男女格差の改善スピードが他の地域を下回っていることが解る。

ランクの上がり方が大きかったのはチュニジア(126位→117位)、バハレーン(131位→126位)、イスラエル(49位→44位)などがある。また UAE、サウジアラビアなどもわずかではあるが昨年より順位が上がっている。一方ランクを大きく下げた国は、カタール(119位→130位)、アルジェリア(120位→127位)の2カ国であり、エジプト、レバノン、トルコ及びイランなども1~2ランク下がっている。

## **3. 分野別順位(末尾表 8-T02 参照)**

経済、教育、健康・寿命及び政治の四分野ごとに見た MENA 16カ国の順位は以下のとおりである。

### (1) 経済分野の男女格差

経済分野の男女格差が MENA で最も小さいのはイスラエルで、同国の世界順位は65位である。同国以外の MENA15か国は全て世界100位以下である。120位のバハレーンに始まり、カタール(同122位)、クウェイト(同125位)と GCC 諸国が続いている。総合順位138位のサウジアラビアはこの分野では142位である。経済分野の MENA の平均世界順位は129位となっており、総合の平均順位とほぼ同じである。MENA では経済分野における男女格差が大きいと言えよう。

因みにこの分野における日本の世界順位は114位であるが、詳しい内容を見ると女性管理職のランクは世界79位、専門技術職の世界ランクは101位であり女性の専門分野進出の道が狭い。また賃金の男女格差は世界平均を上回る52位である。

### (2) 教育分野の男女格差

教育分野ではイスラエル及びカタールの指数が1、すなわち男女が完全に平等であるとされている。MENA でイスラエル、カタールに次ぐのはクウェイト及びヨルダン(共に世界51位)であり、さらに UAE(同62位)が世界144か国の上位グループに入っている。これに続くのはバハレーン(同75位)、サウジアラビア(同96位)、チュニジア(同99位)までが世界100位以内である。世界順位100位以下ではイラン、トルコ(共に100位)、エジプト(104位)、アルジェリア(107位)、レバノン、シリア(共に109位)が100位台にひしめき合っている。

この分野の MENA の平均世界順位は83位である。実は世界的に見てこの教育分野の男女格差は小さく、スコアが1.000の国(即ち男女格差が全くないか、または女性の方が教育度の高い国)が34カ国もあり、イスラエルのスコアは1.000に対して世界104位のエジプトでもスコアは0.960である。

日本は文盲率、初等・中等教育は男女に差が無いが、高等教育に男女格差がありポイントが0.991である。この結果日本の世界順位は74位とされ、この分野ではごくわずかなスコアの差で順位が大きく上下することがわかる。

### (3)健康・寿命分野の男女格差

この分野の特徴は世界的に見て男女格差が比較的少ないことである。指数の最高は0.980であり世界34カ国が同じ指数である。そして最も低い中国の指数は0.918であり、トップと最下位のポイント格差は0.062にとどまっている。この分野は前述の教育分野以上に男女格差が小さく、経済格差の場合トップのブルンジの0.911に対し、最下位のシリアの指数が0.274であることと比べ各国間の格差が非常に小さい。このためわずかな差で順位が大きく変わることとなる。

MENA 諸国の中ではシリア(指数0.980)が世界のトップグループに入っている。これに次ぐのがトルコ(同0.977)、チュニジア(同0.975)、イスラエル及びエジプト(同0.971)、レバノン及びアルジェリア(同0.970)、クウェイト及びヨルダン(同0.969)等の国々である。これに対してカタール、

サウジアラビアおよび UAE(同0.965)、バハレーン(同0.961)等の湾岸産油国は医療福祉制度が充実しているにもかかわらずエジプトよりも男女格差が大きいという意外な結果を示している。これは湾岸産油国では制度が男性優位のまま発達しているのに対し、エジプトでは制度が未発達のため男女の格差がかえって小さいという逆説的な状況を示しているためと見えよう。

日本の指数は0.980であり他の国々と並んで世界1位である。詳細を見るとこの分野は二つの項目(新生児の男女比率及び男女の平均寿命)によって指数が算出されており、日本の場合平均寿命は女性が男性を上回るため指数は1.060であるが、新生児の男女比率は男性が女性を上回っているため指数は0.944となっている。

#### (4)政治分野の男女格差

この分野は世界各国の政治体制の違いに左右される面が大きい。またこの分野はトップのアイスランドの指標が0.750、米国が0.124であるなど上記の健康・寿命指標に比べて世界的に指標値が低く、また各国間の格差が大きい。MENA 各国の指標もトップのイスラエルですら0.232にとどまり、指標0.1以下の国が世界全体の4分の1弱の34カ国に達する。因みに日本は0.078(世界123位)であり中国は0.160(同77位)である。

MENA 諸国間の比較で男女格差が少ないと評価されているのは、イスラエル(世界47位)のほかチュニジア(同55位)、UAE(同67位)、アルジェリア(同86位)などであり、反対に格差が最も大きいのはイエメンの144位、すなわち世界最下位である。UAEを除くGCC各国はカタールが最下位から2番目の世界143位にとどまっているほか、サウジアラビア(同124位)、バハレーン(同137位)、クウェイト(同141位)など軒並み世界順位が低く男女格差が大きい。

政治の男女格差は女性の国会議員、閣僚及び過去50年間の女性元首(首相等)の在任期間でランク付けされているため全体的に各国ともスコアが低く、また同じ先進国でもヨーロッパに比べ日米のランクが低い結果となっている。

#### 4. 2013～2017年の総合ランクの推移

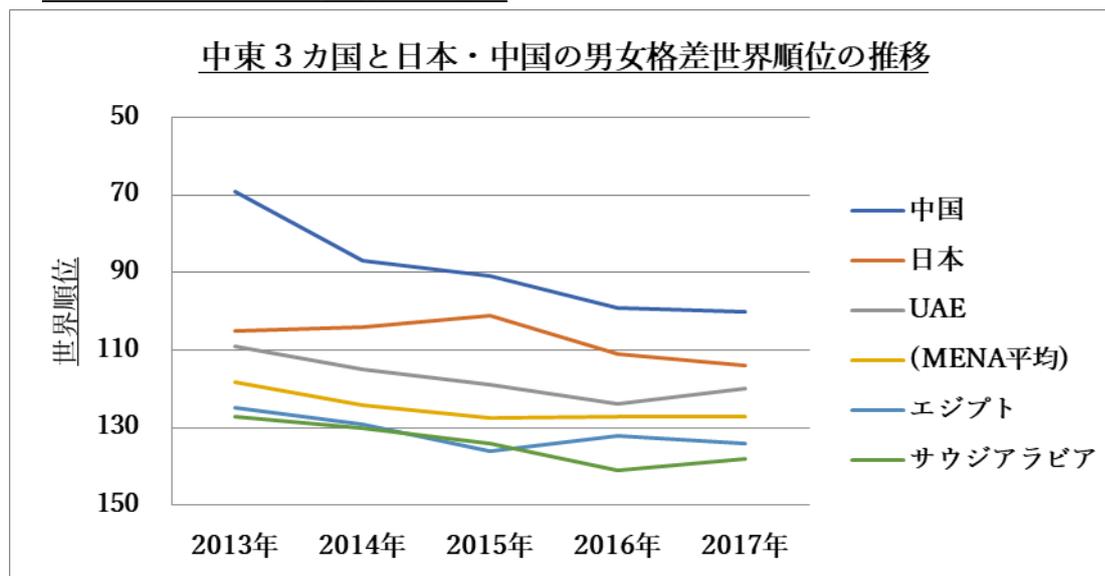
2013年から2017年までの5カ年間の MENA 各国の順位の推移を追うと概略以下の通りである。

##### (1) MENA では5年連続でイスラエルがトップ、イエメンが最下位(末尾表 8-T03 参照)

5カ年を通じてイスラエルは常に MENA1位であり、しかも世界50位前後と MENA2位以下が全て100位以下であるのに比べ大きな開きがある。MENA2位は2013年は UAE であったが、その後2年間はクウェイト、そして2016年はカタール、今回はチュニジアと目まぐるしく交代している。

これに対してイエメンは5年間を通じて常に世界最下位であり、シリアも世界順位が133位(13年)→139位(14年)→143位(15年)→142位(16年)→142位(17年)と低下、イエメン(144位)との差が殆ど無くなっている。またイランも過去4年間は140位前後にとどまっている。

## (2) MENA の世界順位は毎年徐々に悪化



UAE、サウジアラビア、エジプトの3カ国と MENA 平均に日本及び中国2カ国を加えて過去5年間の男女格差世界順位の推移を比べると中国の順位の下落が顕著である。中国は2013年には世界69位であったがその後87位(14年)→91位(15年)→99位(16年)→100位(17年)と毎年下がりに続けている。

MENA の世界平均順位も118位(13年)→124位(14年)→128位(15年)→127位(16年)→127位(17年)と最近3年間は120位台後半で低迷している。これを指数で見ると0.6953(13年)→0.6119(14年)→0.612(15年)→0.613(16年)→0.614(17年)と2014年以降は毎年ほんの僅かながら改善している。MENA 諸国の平均順位が上がらないのは、改善のペースが世界の平均以下にとどまっていることを示している。

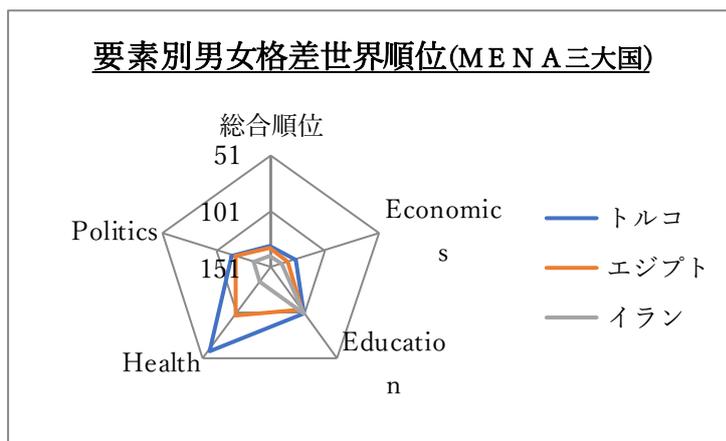
サウジアラビア、エジプトおよび UAE3カ国の過去5年間の世界順位は UAE が109位(13年)→115位(14年)→119位(15年)→124位(16年)→120位(17年)であり、13年から16年までは下落する一方であったが今回は若干アップしている。またサウジアラビアも127位(13年)→130位(14年)→134位(15年)→141位(16年)→138位(17年)と UAE と同様の傾向を呈している。エジプトは125位(13年)→129位(14年)→136位(15年)→132位(16年)→134位(17年)であり2013年から2015年までは下落傾向を続けその後は少し改善し、過去2年間はサウジアラビアを上回っている。

日本は2013年が105位でありそれ以降も100位以下に低迷、前回111位、今回114位と2年連続で最低記録を更新している。中国は過去5年間で凋落が顕著であり2013年の69位から87位(14年)→91位(15年)→99位(16年)→100位(17年)と下がり続け、ついに100位以下に転落した。但しそれでも日本よりは常に上位である。

## 5. 中東5カ国と日米中の要素別比較(レーダーチャート)

MENA の三大国(トルコ、エジプト、イラン)、GCC2カ国(サウジアラビア、UAE)及び MENA 平均並びに日本、米国、中国3カ国を取り上げ、総合順位と4つの分野別順位(経済、教育、健康及び政治)をレーダーチャートで表してみる。レーダーチャートは最も外側が世界1位(つまり男女格差が世界で最も小さい)であり、以下中心に向かうほど順位が低くなる(即ち男女格差が大きい)。グラフの実線が外側に広がるほど男女格差が少ないことを示し、また真円に近いほど男女格差のバランスが取れていることを示している。

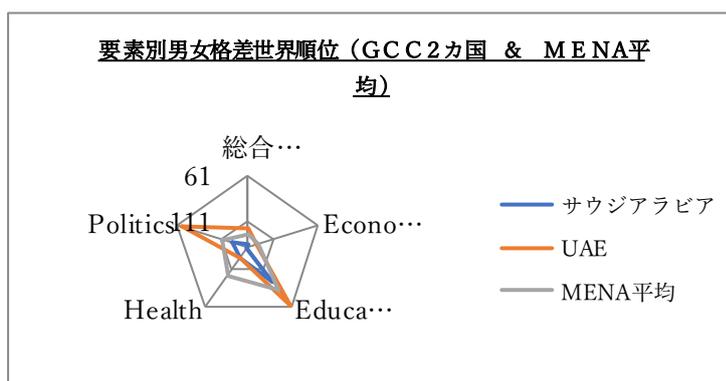
### (1) チャート1(トルコ、エジプト、イラン)



トルコ、エジプト、イランは総合順位が世界131位、134位、140位といずれも低いランクにとどまっている。4つの分野の中では3カ国とも経済分野の男女格差がおしなべて悪く、また政治ランクもイランが136位、エジプト119位、トルコは116位にとどまっている。教育分野は3カ国とも100位台で(トルコ及びイランは100位、エジプト104位)で

ある。健康は男女格差が比較的少ない分野であり、トルコは世界59位であるがエジプトは99位、イラン135位。

### (2) チャート2(サウジアラビア、UAE 及び MENA 平均)

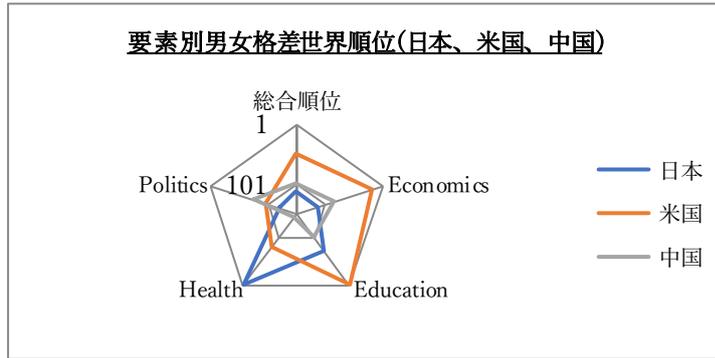


総合順位は UAE120位、MENA平均127位、サウジアラビア138位である。経済分野の男女格差はUAEが130位、MENA平均は129位であるがサウジアラビアは世界144カ国中では最低レベルの142位にとどまっている。政治分野はUAEが世界67位に対しサウジアラビアは124位で、MENA平均の113位

を下回っている。教育分野ではUAEは世界62位で政治分野と並び世界の上位グループに入っている。健康分野はMENA平均が104位であるが、サウジアラビアおよびUAEは共に127位と低く、両国では男女間の格差が大きいことを示している。

### (3) チャート3(日本、米国、中国)

総合順位では米国が49位であるのに対して、中国及び日本はそれぞれ100位、114位にとどまっており特に日本のランクの低さが目立つ。米国は教育の男女格差が世界1位であるが、その他の



分野は経済の男女格差が世界19位、健康格差は世界82位、政治格差は世界96位である。中国は経済及び政治の分野では日本を上回っているが、教育及び健康の分野では日本を下回っており、特に健康の男女格差は世界最低の144位である。総合順位114位の日本は健康分野が世界1位であるが、経済及び政治の

男女格差は米国及び中国よりも遅れており、特に政治分野の男女格差は世界123位であり、中国の77位、米国の96位を大きく下回っている。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
 Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
 E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

### 男女格差指数2017 (The Global Gender Gap Index)

	国名	2017年		2016年		2016/2017 年比較	
		世界順位	Index	世界順位	Index	世界順位	Index
1	イスラエル	44	0.721	49	0.719	5	0.002
2	チュニジア	117	0.651	126	0.636	9	0.015
3	UAE	120	0.649	124	0.639	4	0.010
4	バハレーン	126	0.632	131	0.616	5	0.016
5	アルジェリア	127	0.629	120	0.642	▲ 7	▲ 0.013
6	クウェイト	129	0.628	128	0.624	▲ 1	0.004
7	カタール	130	0.626	119	0.643	▲ 11	▲ 0.017
8	トルコ	131	0.625	130	0.623	▲ 1	0.002
9	エジプト	134	0.608	132	0.614	▲ 2	▲ 0.006
10	ヨルダン	135	0.604	134	0.603	▲ 1	0.001
11	モロッコ	136	0.598	137	0.597	1	0.001
12	レバノン	137	0.596	135	0.598	▲ 2	▲ 0.002
13	サウジアラビア	138	0.584	141	0.583	3	0.001
14	イラン	140	0.583	139	0.587	▲ 1	▲ 0.004
15	シリア	142	0.568	142	0.567	0	0.001
16	イエメン	144	0.516	144	0.516	0	0.000
-	イラク	-	-	-	-	-	-
-	リビア	-	-	-	-	-	-
-	オマーン	-	-	133	0.612	-	-
-	パレスチナ自治区	-	-	-	-	-	-
	(MENA 平均)	127	0.614	127	0.613	0	0.001
	対象国数	144		144			
	日本	114	0.657	111	0.660	▲ 3	▲ 0.003
	世界 1 位	アイスランド	0.878	アイスランド	0.874		0.004
	最下位	イエメン	0.516	イエメン	0.516		0.000
	米国	49	0.718	45	0.722	▲ 4	▲ 0.004
	中国	100	0.674	99	0.676	▲ 1	▲ 0.002

Source:World Economic Forum (WEF)

<https://www.weforum.org/reports/the-global-gender-gap-report-2017>

## 男女格差指数2017 (The Global Gender Gap Index) 要素別

国名	総合		Economic Participation and Opportunity		Education Attainment		Health and Survival		Political Empowerment	
	世界順位	指数	世界順位	指数	世界順位	指数	世界順位	指数	世界順位	指数
イスラエル	44	0.721	65	0.681	1	1.000	98	0.971	47	0.232
チュニジア	117	0.651	131	0.446	99	0.966	71	0.975	55	0.216
UAE	120	0.649	130	0.459	62	0.994	127	0.965	67	0.180
バハレーン	126	0.632	120	0.537	75	0.991	136	0.961	137	0.037
アルジェリア	127	0.629	132	0.442	107	0.957	106	0.970	86	0.145
クウェイト	129	0.628	125	0.518	51	0.996	113	0.969	141	0.027
カタール	130	0.626	122	0.523	1	1.000	127	0.965	143	0.016
トルコ	131	0.625	128	0.471	100	0.965	59	0.977	116	0.088
エジプト	134	0.608	135	0.413	104	0.960	99	0.971	119	0.087
ヨルダン	135	0.604	138	0.377	51	0.996	113	0.969	126	0.075
モロッコ	136	0.598	137	0.391	122	0.920	127	0.965	100	0.117
レバノン	137	0.596	133	0.440	109	0.956	106	0.970	142	0.019
サウジアラビア	138	0.584	142	0.320	96	0.975	127	0.965	124	0.077
イラン	140	0.583	140	0.357	100	0.965	135	0.963	136	0.046
シリア	142	0.568	144	0.274	109	0.956	1	0.980	130	0.063
イエメン	144	0.516	141	0.345	141	0.737	119	0.968	144	0.014
イラク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リビア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
オマーン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パレスチナ自治政府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(MENA 平均)	127	0.614	129	0.437	83	0.958	104	0.969	113	0.090
日本	114	0.657	114	0.580	74	0.991	1	0.980	123	0.078
米国	49	0.718	19	0.776	1	1.000	82	0.973	96	0.124
中国	100	0.674	86	0.654	102	0.963	144	0.918	77	0.160
世界1位	(アイスランド)	0.878	14	0.798	57	0.995	114	0.969	1	0.750
世界最下位	(イエメン)	0.516								

Source:World Economic Forum (WEF)

<https://www.weforum.org/reports/the-global-gender-gap-report-2017>

## 男女格差指数(The Global Gender Gap Index)2013~2017年

国名	世界順位				
	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年
	136 力国	142 力国	145 力国	144 力国	144 力国
アルジェリア	124	126	128	120	127
バハレーン	112	124	123	131	126
エジプト	125	129	136	132	134
イラン	130	137	141	139	140
イラク	-	-	-	-	-
イスラエル	53	65	53	49	44
ヨルダン	119	134	140	134	135
クウェイト	116	113	117	128	129
レバノン	123	135	138	135	137
リビア	-	-	-	-	-
モロッコ	129	133	139	137	136
オマーン	122	128	135	133	-
パレスチナ自治政府	-	-	-	-	-
カタール	115	116	122	119	130
サウジアラビア	127	130	134	141	138
シリア	133	139	143	142	142
チュニジア	-	123	127	126	117
トルコ	120	125	130	130	131
UAE	109	115	119	124	120
イエメン	136	142	145	144	144
(MENA 平均)	118	124	128	127	127
世界 1 位	アイスランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド
最下位	イエメン	イエメン	イエメン	イエメン	イエメン
日本	105	104	101	111	114
米国	23	20	28	45	49
中国	69	87	91	99	100

Source:World Economic Forum (WEF)

<https://www.weforum.org/reports/the-global-gender-gap-report-2017>